



全国初の草原活動拠点施設「阿蘇草原保全活動センター」が完成、関係者 120 人が出席しオープニング記念式典が開かれた。



(4月19日)

阿蘇市誕生から 10 年、 2015 年も話題の絶えない阿蘇市でした。

昨年 2 月 11 日に阿蘇市は誕生から 10 年を迎え、記念式典では、市民の皆さんとともに 10 年の節目を祝いました。

11 年目に突入した 2015 年の阿蘇市もさまざまな話題がありました。今回は、その中でも特に話題性のあった 10 のできごとを振り返ります。



(阿蘇市イメージキャラクター「あか牛くん」)

6月

5月

4月

3月

2月

1月

(3月14日)



中止が決まった「阿蘇の大火文字焼き」を継続させようと、市民有志が発起し、黒川の本塚で火文字焼きが行われ、闇夜に大きな火文字が浮かび上がった。

阿蘇市誕生 10 周年記念式典を阿蘇体育館で挙行之、国会議員や県知事、行政関係者、市民など約 700 人が出席、節目を祝った。功労者表彰やアグネス・チャン氏による記念講演も開催。



(2月11日)

(1月30日)



任期満了に伴う阿蘇市議会議員一般選挙で、20 人の議員が決まった。議長に藏原博敏氏、副議長に井手明廣氏が就任。議員定数は前回から 2 人少ない 20 人体制で市制 4 期目に入った。

(7月25日・26日)

阿蘇中岳が噴火し、入山規制を示す噴火警戒レベル3に引き上げられる。阿蘇火山防災会議協議会では、火口周辺の2^{キロ}から4^{キロ}の範囲の立ち入りを制限する二次規制を実施した。



熊本県中学校総合体育大会が阿蘇地域で開催され、阿蘇市でも熱戦が繰り広げられた。写真右は選手宣誓をした一の宮中卓球部の谷口光さん。

阿蘇市が(株)モスフードサービスと農業参入に関する協定を交わした。波野滝水と八代市の2カ所で、トマト生産の安定化などを図り、農業振興や雇用創出が期待される。



(9月14日)

(5月19日)

12月

11月

10月

9月

8月

7月

(11月24日)



それまで出されていた噴火警戒レベル3(入山規制)からレベル2(火口周辺規制)に引き下げられ、県道阿蘇吉田線の2カ所の通行止めが解除された。阿蘇山上広場の事業者は営業再開に向けて急ピッチで片付け作業を行った。

消費拡大と地域経済の活性化を図るために「阿蘇市2割お買得券」を販売。発行総額は3億円でことし1月末まで利用可能。



(7月1日)

(3月29日)



阿蘇広域行政事務組合消防本部の新庁舎が完成し、落成式が行われた。総事業費約10億円をかけて建設された新庁舎は、阿蘇地域の消防行政の中核を担い、災害拠点施設としての機能も備える。